

クロアチア情勢

主な出来事

2017年5月

内政

- 1日、オクチャニ(当国南部)において、1995年5月1日に開始された「閃光」作戦犠牲者追悼式開催。グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相、クルスティッチェビッチ副首相兼国防相、シュティール副首相兼外務・欧州問題相、メドベド退役軍人相、シュンドフ参謀総長等が出席。
- 3日、MOSTは、マリッチ財相に対する不信任決議案が否決されたら撤回するとしつつ、議会解散要求に関する動議を議会に提出。また、同日、議会において、マリッチ財相に対する不信任決議案の審議が行われた。翌4日、同不信任決議案に関する採決が行われ、賛成75票、反対75票、棄権1票で同決議案は否決。その直後、ペトロフ議会議長が辞任を表明。
- 5日、グラバル＝キタロビッチ大統領が各政党派閥代表と現在の政治情勢について個別に協議。また、同日、新議会議長にヤンドロコビッチ議会議長が就任。議会は統一地方選挙終了まで一時休会となる。
- 12日、埠ブライブルクにて開催された、パルチザン部隊により殺害された「クロアチア独立国(NDH)」軍兵士(ウスタシャ)や一般市民ら犠牲者を追悼する72周年記念式典に、ヤンドロコビッチ議長、マリッチ国家資産相(クロアチア政府代表)、メドベド退役軍人相(プレンコビッチ首相代理)が出席。
- 16日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相は、HDZとMOSTの連立解消が遺憾であり、早期の解散総選挙が望ましい旨発言。
- 21日、統一地方選挙第1回投票日。
- 22日、クロアチアの国連加盟25周年式典開催。グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相、シュティール副首相兼外務・欧州問題相等出席。
- 22日、科学・教育省は、ヤスミンカ・ブリヤン＝ツレイ氏を教育カリキュラム改革の責任者に任命。
- 29日、クロアチア軍創設26周年記念式典開催。グラバル＝キタロビッチ大統領兼同軍最高司令官、プレンコビッチ首相、クルスティッチェビッチ国防相、シュンドフ参謀総長らが出席。
- 30日、クロアチア議会において「議会の日」27周年記念式典開催。
- 31日、ベルナルディッチ社会民主党(SDP)党首とベリャク農民党(HSS)党首は次期議会選挙における両党の協力に合意。

外交

- 5日、プレンコビッチ首相はオーストリアを訪問し、ファン・デア・ベレン大統領に表敬訪問した他、ケルン首相と会談。
- 8－10日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、マルタを訪問し、ムスカット首相、ファルージヤ下院議長と会談。
- 9日、ブトコビッチ海事・運輸・インフラ相は、当国訪問中のグルバルチク・ポーランド海事経済・河川交通相と3海イニシアチブに繋がるリエカ港整備について会談。
- 13日、グラバル＝キタロビッチ大統領はNATOの政策や地域安全保障に関するフォーラムでのパネル出席のため（モンテネグロ大統領及びスロベニア大統領も同席）、モンテネグロを訪問。
- 14－15日、「一帯一路」国際協力ハイレベルフォーラム（於：北京）にプレンコビッチ首相特使として、ペイチノビッチ＝ブリッチ外務・欧州問題省副大臣（欧州問題担当）が出席。
- 15－16日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相はEU外相会合出席のためブリュッセルを訪問。
- 18日、プレンコビッチ首相は、ボスニアの新聞社による表彰を受けるため、モスタルを訪問。
- 18日、ソウザ・ポルトガル大統領がクロアチア訪問。グラバル＝キタロビッチ大統領と会談。
- 18日、クルスティッチェビッチ副首相兼国防相はブリュッセルで開かれたEU国防相会議に出席。
- 19日、タヤニ欧州議会議長がクロアチア来訪。グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相、ヤンドロコビッチ議会議長と会談。
- 23日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相は、ロシアを訪問し、ラブロフ露外相と会談。
- 24日、トルシッチ農業相は、ハンガリーを訪問し、クロアチア産食品を紹介するイベントに出席。ハンガリー農業副大臣も出席。
- 25日、ブリュッセルで行われたNATO首脳会合にグラバル＝キタロビッチ大統領が出席。トランプ米大統領やマクロン仏大統領とも会談。
- 26日、グラバル＝キタロビッチ大統領はスロバキアで開催された、グローバル安全保障フォーラムに出席。
- 29－30日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相はブルガリアを公式訪問。ラデフ大統領、ボリスフ首相、ザハリエバ副首相兼外相らと会談。
- 31日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相はギリシャを公式訪問。チプラス首相やコジアス外相らと会談。

経済

- 8日、信用格付機関S&Pグローバルレーティングは、アグロコル社の法人信用格付(Corporate Credit Rating)を、同社の社債の利息未払い等を理由にCC/Negative/Cから、SD/--/SDへ引き下げ(債務の一部が不履行との判断)。
- 11日、欧州委員会は2017年春の経済見通しを公表。クロアチアの実質GDP成長率は、2017年はアグロコル問題による影響を懸念し、同冬の見通し(3.1%)から下方修正(2.9%)。一方、2018年については2.5%から2.6%へ上昇修正。
- 11日、アグロコル・グループは、同グループの2017年3月31日時点での総負債残高(404億クーナ。クロアチアのGDPの約12%に相当)を公表。うち半分以上は無担保金融債務(215億クーナ)である。
- 22日、欧州委員会は、EU加盟国間の財政政策と経済政策の協調状況を評価する「ヨーロッパ・ンセメスター」の2017春パッケージを公表し、同パッケージのなかで、クロアチアに対し、その財政赤字がGDP3%以下まで削減されたことから、EDP(過剰財政赤字手続)を廃止する旨発表。
- 29日、アグロコルのメインバンクであるズベルバンクのポレタエフ CEO 筆頭代行は、当国を訪問し、プレンコビッチ首相とラムリャック・アグロコル社管財責任者と個別に会談。
- 31日、クロアチア統計局は、2016年1-3月期のGDP計を公表。今年第一四半期の実質GDP成長率は前年同期比で2.5%増となった(季節調整済実質GDP成長率では前年同期比で3.4%)。

主要経済指標

(2017年月次データ, 対前年同期比(除く失業率), 政府統計局発表)

輸出総額 (3月)	輸入総額 (3月)	貿易赤字 (3月)	工業生産高 (4月)	インフレ率 (4月)	失業率(登録制) (4月)
+22.1% (251億クーナ, 34億ユーロ)	+13.9% (389億クーナ, 52億ユーロ)	+1.5% (137億クーナ, 18億ユーロ)	-0.6% (3月:-0.1%)	+1.4% (3月:1.1%)	13.2% (3月:14.4%)

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものです。記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。